

平成22年4月、八幡支援学校、 乙訓高校スポーツ健康科学科がスタートしました!

「八幡支援学校」は、八幡市・久御山町在住及び府立桃山学園の障害のある児童生徒が通う特別支援学校です。

京都八幡高校南キャンパスと同一敷地内に設置し、全国で初めて、小学部・中学部・高等部のある特別支援学校と高校生との日常的な交流及び共同学習を進めます。



また、児童生徒一人一人の指導計画に基づき、個々の可能性を引き出し、「つながり・チャレンジする」教育を進めます。

京都府初の体育系専門学科「スポーツ健康科学科」の第一期生が乙訓高校に入学しました。

新学科では、スポーツ・健康科学系の大学・学部と連携し、医科学データや最新の情報を取り入れた新しいスタイルの授業を行います。そして、将来にはばたくトップアスリートやスポーツリーダー、健康エキスパートを育成していきます。

競技する視点やサポートする視点など、様々な角度からスポーツをとらえた人間性豊かなスポーツ教育拠点校の誕生です。



入学生が京都八幡高校の生徒とともに入場しました 八幡支援学校



乙訓高校



福知山市立上川口小学校

笑顔あふれる1年生
新たな学校生活が
始まりました。



福知山市立川口中学校



京丹後市立間人小学校



八幡市立くすのき小学校

平成22年度当初予算概要

～予算総額 1,979億443万円～

子どもたちの学力の充実・向上、家庭・地域社会との連携などを施策の重点に据え、『「京の子ども、夢・未来」プラン21』に基づく教育改革を着実に推進するための経費を計上しています。

詳しい内容はホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp>) をご覧下さい。

1 学力の充実・向上～円滑なタテの接続～

◆子どものための京都式少人数教育推進費 (81億938万円) 【拡充】

義務教育9年間を通して子どもたちへのきめ細やかな指導を行い、確かな学力を身に付けられるよう教員配置を充実します。

◆学力パワーアップ総合対策推進費 (4,400万円)

府内の中学校で、中1振り返り集中学習「ふりスタ」や各種検定等に挑戦する「チャレンジ学習」を実施します。

また、「ことばの力」の向上に向け、小学校入学前から高校までの発達段階に応じた学習プログラムを開発します。



◆読書活動推進事業費 (500万円) 【新規】

環境や古典など、調べ学習に役立つ本を府立図書館から小・中学校に貸し出します。

※下段に関連記事を掲載しています。

◆古典の日推進事業費 (100万円)

小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を開催し、古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで「ことばの力」をはぐくみます。



2 家庭・地域社会との連携～ヨコの連携強化～

◆家庭教育支援事業費 (670万円) 【新規】

小学校入学前の保護者が先輩保護者と交流、相談などを行う「親のための応援塾」を府内全ての小学校で開催するなど、家庭の教育力の向上を目指します。



◆学習習慣確立支援事業費 (5,748万円)

経験豊かな退職教員や社会福祉等の専門家を「まなびアドバイザー」として府内の小・中学校に配置し、子どもたちの生活習慣の確立と学習習慣の定着を図ります。

◆京のまなび教室推進事業費 (5,570万円)

放課後や土曜日等における体験活動、学習活動などの一層の充実を図ります。

◆地域で支える学校教育推進事業費 (3,406万円)

中学校区を中心に「学校支援地域本部」を設置し、地域で学習や部活動を支援して、学校を支える体制を整えます。



感性を磨き「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動を推進します

～言語力、想像力、表現力の育成を社会総がかりで～

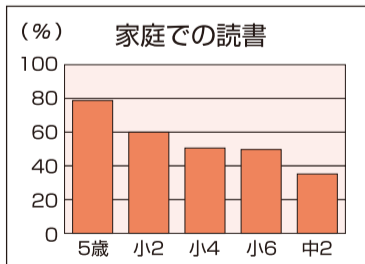
平成16年に策定した「京都府子どもの読書活動推進計画（第一次推進計画）」の成果と課題を明らかにした上で、子どもの読書活動のさらなる総合的・計画的な推進を図るため、平成22年1月に「第二次推進計画」を策定しました。

今後は4つの目標を柱として、様々な取組を進めていきます。

① 家庭における読書活動の推進

学年が進むにつれ、家庭で読書をしている割合が少なくなっています。

そこで、



「京都府子ども読書活動推進計画」より

- 家庭において、子どもが積極的に読書に取り組むよう啓発に努めます。
- 保護者自身も読書に親しむなど、大人の読書活動を推進するよう啓発に努めます。

家庭でも、例えば、

- 子どもと一緒に読書をする時間をつくる。
 - 子どもが触れやすいところに家族の本を置くコーナーをつくる。
- など、読書活動の推進に取り組むことができます。

② 学校等における読書活動の推進

- 教科等の学習や学校行事を通じた読書活動の取組を実施します。
- 「ことばの力」を育成する取組を推進します。

③ 地域社会における読書活動の推進

- 図書館等における様々な取組について啓発に努めます。

④ 効果的な読書活動の推進

- 市町村と連携し、一層の充実に努めます。



3 高校への修学支援の充実

◆府立高校授業料の無償化の実施

※下段で詳しくお知らせしています。

◆高校生等修学支援事業費（17億8,345万円）

※下段で詳しくお知らせしています。

4 特別支援教育の充実

◆新設特別支援学校建設費（32億3,259万円）

府内の特別支援教育の拠点となる宇治支援学校を新設します。
(平成23年4月開校)



◆地域等連携推進事業費（1,100万円）

障害のある子どもたちの相談体制の充実を図るとともに、乳幼児期から成人期に至るまでの、一貫した支援体制を整えます。

◆就労支援事業費（930万円）

販売学習「ふれあい・心のステーション」の開催などを通じて、生徒の自立と社会参加を進めます。



5 安心・安全な学校づくり

◆府立学校耐震強化対策費（17億1,022万円）

府立学校の校舎などの耐震補強工事を進めます。

◆府民公募型安心・安全整備事業費（1億円）

府民の皆さんから広く意見を募集し、府立学校の校舎等の改修工事に活かします。

◆地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費（1,720万円）

子どもたちの安全のために、「スクールガード」による登下校の見守り活動などを支援します。



6 その他

◆府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費（8,779万円）

生徒一人一人の「確かな学力」の充実と希望進路の実現に向けて、高校が主体的に企画し、教育改革を推進する取組を支援します。

◆文化の力をはぐくむ「京育」推進事業費（1,800万円）【拡充】

高校の文化系部活動の活性化と京都の伝統文化の次世代への継承を図ります。



◆集まれ未来の教員サポート事業（300万円）

教員志望者を対象とした、「教師力養成講座」や「教員養成サポートセミナー」の開催、「学生ボランティア」の支援を行います。
※裏面に関連記事を掲載しています。

高校生の修学を応援します

平成22年度から、府立高校の授業料が無償になりました。

また、経済的な理由で修学を断念することがないように、高校生等への修学資金の貸与などを実施しています。

府立高校授業料の無償化

国において公立高校授業料の無償化について法律が施行されることになり、京都府でも平成22年度4月分から府立高校の授業料（全日制課程の場合、年額118,800円）を徴収しないこととしました。家庭の状況にかかわらず、全ての高校生が安心して勉学に取り組めるよう、家庭の教育費負担を軽減する目的で実施します。

高校生等修学資金貸与事業

申込みについては、以下のとおりです。

●高等学校等修学資金（修学金・修学支度金）貸与制度

対象：高等学校などに在学の方、またはその保護者

※保護者などが府内に在住していること、世帯または保護者の所得基準などの要件があります。

受付：随時（申請日の翌月分からの貸与）

ただし、平成22年度新入生で、4月分からの貸与希望者は5月15日まで（既に貸与予定決定を受けている方は4月30日まで）

●修学支援特別融資利子補給制度

対象：高等学校などに在学の方、またはその保護者

※保護者などが府内に在住していること、世帯または保護者の所得基準などの要件があります。

受付：5月15日まで（定員あり）

【問い合わせ先】

在学の高等学校または

府教育庁高校教育課奨学担当・・・TEL 075-414-5856または5154

子どもたちと歩んだ一年間

京都府教育委員会では、優秀な人材を育成・確保することを目的に、教員を目指す大学生が学校現場で学ぶことにより、実践力を身に付けてもらう教員養成プログラム「教師力養成講座」や「教員養成サポートセミナー」を実施しています。実際に講座やセミナーを受講して、昨年度に採用された2名の先生を紹介します。

教師力養成講座の实地演習では、たくさんの授業を経験しました。その中で、児童の意見を引き出す方法や、課題をもつ児童への支援の方法などを学ぶこと、自分自身の課題を明確にすることができました。实地演習や講座で実践的に学んだことが、今の私の土台となり糧となっています。

今年度、教師として2年目を迎えることになりましたが、これからも、目の前の子どもたち一人一人と向き合い、熱い心とチャレンジ精神を忘れることなく、自分自身を成長させていきたいです。



宇治市立御蔵山小学校 教諭 長谷川 真子

教員養成サポートセミナーを受講し、授業の補助や部活動指導などを体験しました。それらを通して、生徒の成長を支援する素晴らしさを感じ、「生徒とかけがえのない時間を共有できる教師になりたい。」と強く決意しました。



福知山市立成和中学校 教諭 中川 哲治

昨年度は1年生の担任となり、「常に生徒と共に」という信念のもと全力投球し、時には失敗をしながらも、生徒、保護者の方々、周りの先輩教師に支えられ、一生忘れられない教員生活1年目を終えることができました。

今後も、チームワークを大切にいつまでも熱く燃える教師であるために、日々、精進していきたいです。



きょういく きた みなみ



「連携」をキーワードに 国民文化祭の成功に向け発信します!

南丹教育局

南丹教育局は、平成22年1月30・31日の2日間「第3回南丹美術工芸教育展」を南丹市国際交流会館と南丹市立文化博物館を会場に開催しました。当日は、亀岡市、南丹市、京丹波町の公立保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校及び京都伝統工芸大学校が連携して、優れた絵画や工芸等の作品1,117点を展示しました。4,500名の来場者があり、国民文化祭の成功に向けた取組として、盛会裏に終了しました。



『みんなの笑顔』発行!

中丹教育局

中丹教育局の「プロジェクト21会議」では、どの子どもも楽しく意欲的に学ぶことができる学級経営のポイントを、ブックレット『みんなの笑顔』としてまとめました。今まで受け継がれてきた学級経営の基本的な内容の一部に特別支援教育の視点から説明を加えた編集にしています。「『落ち着いて過ごせる教室づくり』や『見通しの持てる約束づくり』などのポイントは若手教員の指針になる。」「校内研で活用したい。」等の声が聞かれます。是非多くの先生方に活用いただきたいと考えます。(ホームページに掲載中)



シリーズ 人権



京都府教育委員会では、小学校から高校までの12年間を見据えた系統的な人権学習が行われることを目指して、人権学習資料集の作成に取り組んできました。平成17年度から年次計画で小学校編(低学年用、中学年用、高学年用)、中学校編、さらに今春には高等学校編が完成しました。各学校で子どもたちの発達段階に応じて、生命や人間の尊厳、人権の意義などをテーマとした学習と様々な人権問題をテーマとした学習に活用されます。

シリーズ 文化財

もくそうじゅういちめんかんのんざそう
木造十一面観音坐像 (写真中央)

「建保六年(1218)九月二日奉造立」「大仏師僧寿賢」等の銘がある 1 躯

もくそう 不動明王 (写真右)

木造 立像 2 躯

毘沙門天 (写真左)



十一面観音像は、舞鶴市の満願寺に伝わる仏像で、像の底に記された内容から、満願寺院主の大法師弁円を願主として建保六年(1218)に大仏師僧寿賢によって造立されたと判明する貴重な彫刻です。脇侍の不動明王像と毘沙門天像も、激しい動きが力強く表現された鎌倉前期の優れた作品であり、3体併せて平成21年度の京都府指定有形文化財として指定されました。

ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談 (24時間受付) ふれあい・すこやかテレフォン

京都府総合教育センター

■ 075-612-3268 または 3301
■ 0773-43-0390

来所・巡回教育相談

■ 月～金[祝日を除く] 上記の電話でお申し込みください。
臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

■ メールアドレス sukoyaka@kyoto-be.ne.jp

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報して下さい。

■ パソコンからは
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>

■ 携帯電話からは
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>



国民文化祭・京都2017



PR隊長 まゆまる

再生紙を使用しています。